

# 重症化予防分析のための統計基準の確立

死亡者数を減らすには、重症化予防が必要である。重症化予防の地域差分析をするための、十分な統計データが必要ではないか。

- 重症者の基準が明確ではなく、また、時点ごとの重症者数がつかめても重症となった方の総数が分からない。

## 療養者に占める重症者の割合

9月8日 時点

府県名	療養者 A	うち重症者 B	B/A
大阪府	23,352	613	2.6%
京都府	4,516	87	1.9%
兵庫県	6,299	85	1.3%
滋賀県	1,343	14	1.0%
奈良県	1,361	20	1.5%

9月22日 時点

府県名	療養者 A	うち重症者 B	B/A
大阪府	9,210	423	4.6%
京都府	2,070	40	1.9%
兵庫県	2,301	59	2.6%
滋賀県	351	6	1.7%
奈良県	546	13	2.4%

※ 厚生労働省作成資料「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査結果」をもとに奈良県において作成

**重症化患者の地域ごとの総数把握のための統計基準の確立が必要。**